

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2022年 8月 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京田辺市大住立原1の1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社明治 京都工場 工場長 眞中 学 0774-62-3161

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	牛乳・乳製品の製造
導入年月日	1998年 12月21日
認証番号	73575066

基本方針	<p>【環境理念】 私たち明治グループは、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。そのために、地球環境と事業活動との調和を図り、環境に配慮した企業経営を推進していきます。</p> <p>【環境方針】 明治グループは、明治グループ理念および明治グループ環境理念を実現するために、以下の環境方針に従って事業活動を展開します。</p> <p>法令遵守 1. 国内外の環境にかかわる法令、条例、ステークホルダーとの協定、業界規範、自主基準を遵守します。</p> <p>環境保全活動のスパイラルアップ 2. 環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的な改善を図ります。</p> <p>環境負荷低減 3. 商品の設計から廃棄に至るライフサイクル全般及びあらゆる事業活動において、生産性の向上、省資源、省エネルギーを推進し、環境負荷低減を図ります。</p> <p>生物多様性の保全 4. あらゆる事業活動において、グローバルな視野を持って生態系に配慮し、生物多様性の保全に努めます。</p> <p>環境マインドの醸成 5. 自然を敬い、自ら進んで環境を考え行動する従業員を育成し、環境理念の実現を図ります。</p> <p>社会との共生及びコミュニケーション 6. 社会との対話や、環境活動への参画により、社会との共生を図ります。また、環境情報を適切に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。</p>
------	---

環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>2021年度目標（殺菌乳量換算）</p> <p>①電力使用量20年度比2%削減 ②ガス使用量20年度比2%削減 ③水使用量20年度比2%削減 ④産業廃棄物20年度比2%削減 ⑤CO₂排出量20年度比2%削減</p>
--	---

目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生産ライン安定稼働・稼働率向上によるエネルギー使用量削減 廃棄原料の削減による環境負荷低減 配送車の配送効率化によるCO₂排出量削減 洗浄工程の見直しによる水の使用量削減 ゴミステーション使用水の回収水化による水の削減 太陽光発電設備導入による電力の削減
-----------------	---

目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 生産ライン安定稼働・稼働率向上によるエネルギー使用量削減 ⇒継続取組中 廃棄原料の削減による環境負荷低減 ⇒継続取組中 配送車の配送効率化によるCO₂排出量削減 ⇒継続運用中 洗浄工程の見直しによる水の使用量削減 ⇒継続取組中 ゴミステーション使用水の回収水化による水の削減 ⇒実施完了 太陽光発電設備導入による電力の削減 ⇒導入完了
-------------------	---

目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>2021年度目標成果（殺菌乳量換算）</p> <p>①電力使用量20年度比2%削減⇒2.3%削減 ②ガス使用量20年度比2%削減⇒7.0%増加 ③水使用量20年度比2%削減⇒5.9%増加 ④産業廃棄物20年度比2%削減⇒3.5%増加 ⑤CO₂排出量20年度比2%削減⇒2.9%増加</p> <ul style="list-style-type: none"> 新設備導入に伴い、試運転等によるエネルギー使用量および廃棄物量の増加。 ライン増設に伴うエネルギー使用量および廃棄物量の増加。
-----------------------------	---

事業活動に係る法令の遵守の状況	毎年、内部監査を実施している。
-----------------	-----------------

環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>目標設定し削減に取り組んできたが、製造ラインの新設・増設および変更等によりエネルギー使用量増加により目標達成とはならなかった。</p> <p>【見直し内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産稼働率の向上（超安定稼働）を継続的に取り組む。 廃棄物の分別教育を引き続き実施する。 ゴミステーション使用水の回収水化による水の削減を実施する。 太陽光発電設備導入による電力削減に努める。
-------------------------	---

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。